

Hirata

The Global Production Engineering Company

2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

平田機工株式会社



I. 決算状況

2019年3月期 第3四半期

Hirata

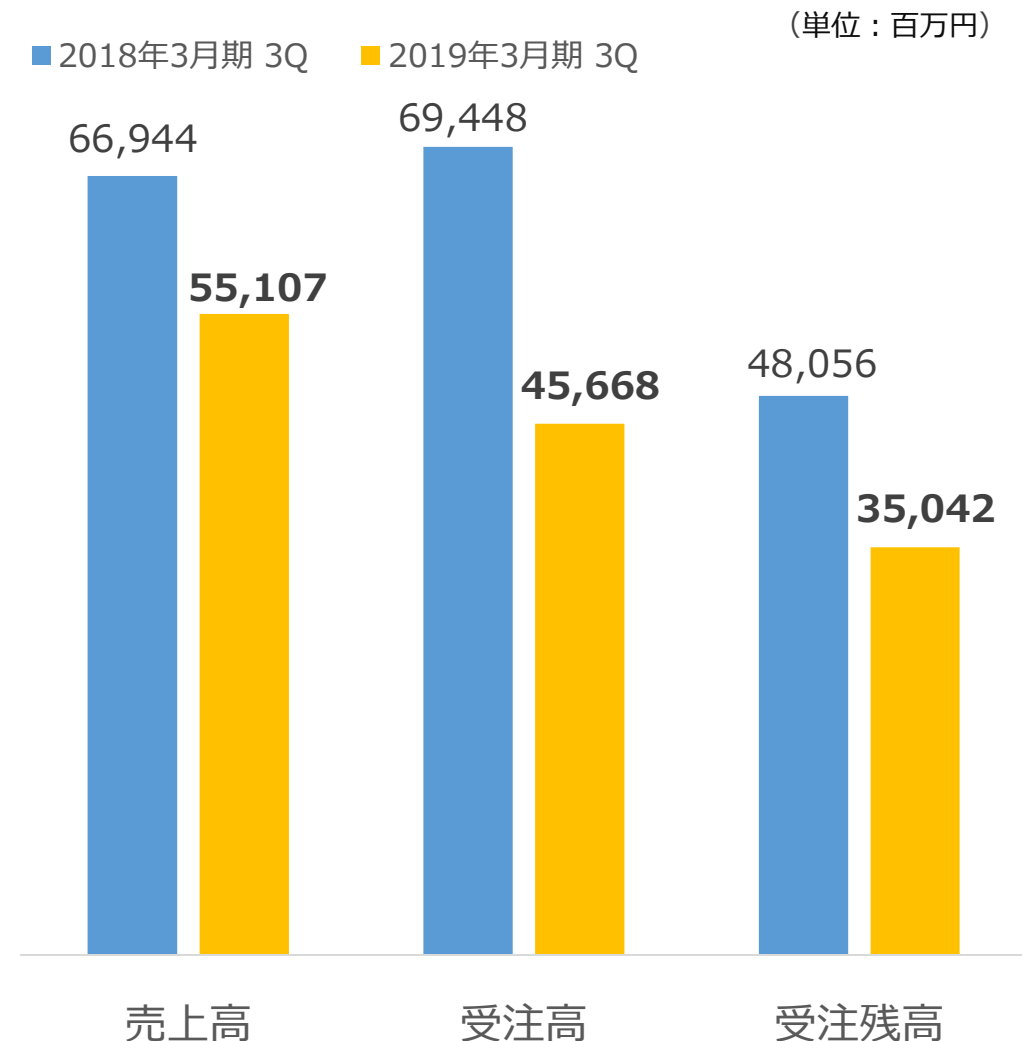


決算概要

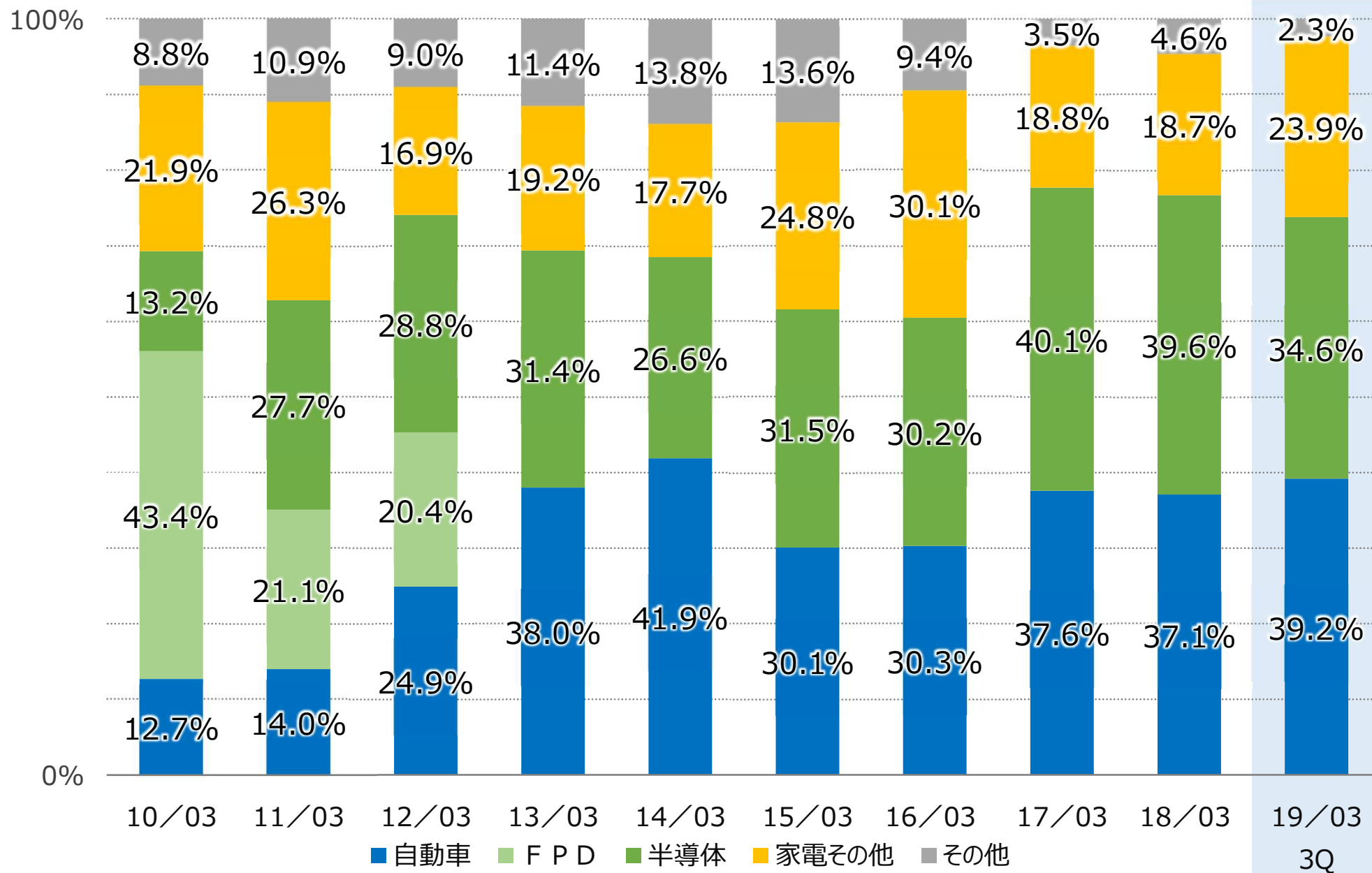
電気自動車（EV）関連の受注や新規顧客開拓に取り組むも、高水準で推移していました有機EL関連の設備投資が大幅に減少したことに加え、自動車メーカーの設備投資抑制が影響し、減収減益となりました。

(単位：百万円)

	2018年3月期 3Q実績	2019年3月期 3Q実績	増減率
売上高	66,944	55,107	△17.7%
営業利益	7,859	4,974	△36.7%
経常利益	7,717	5,084	△34.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,347	3,630	△32.1%

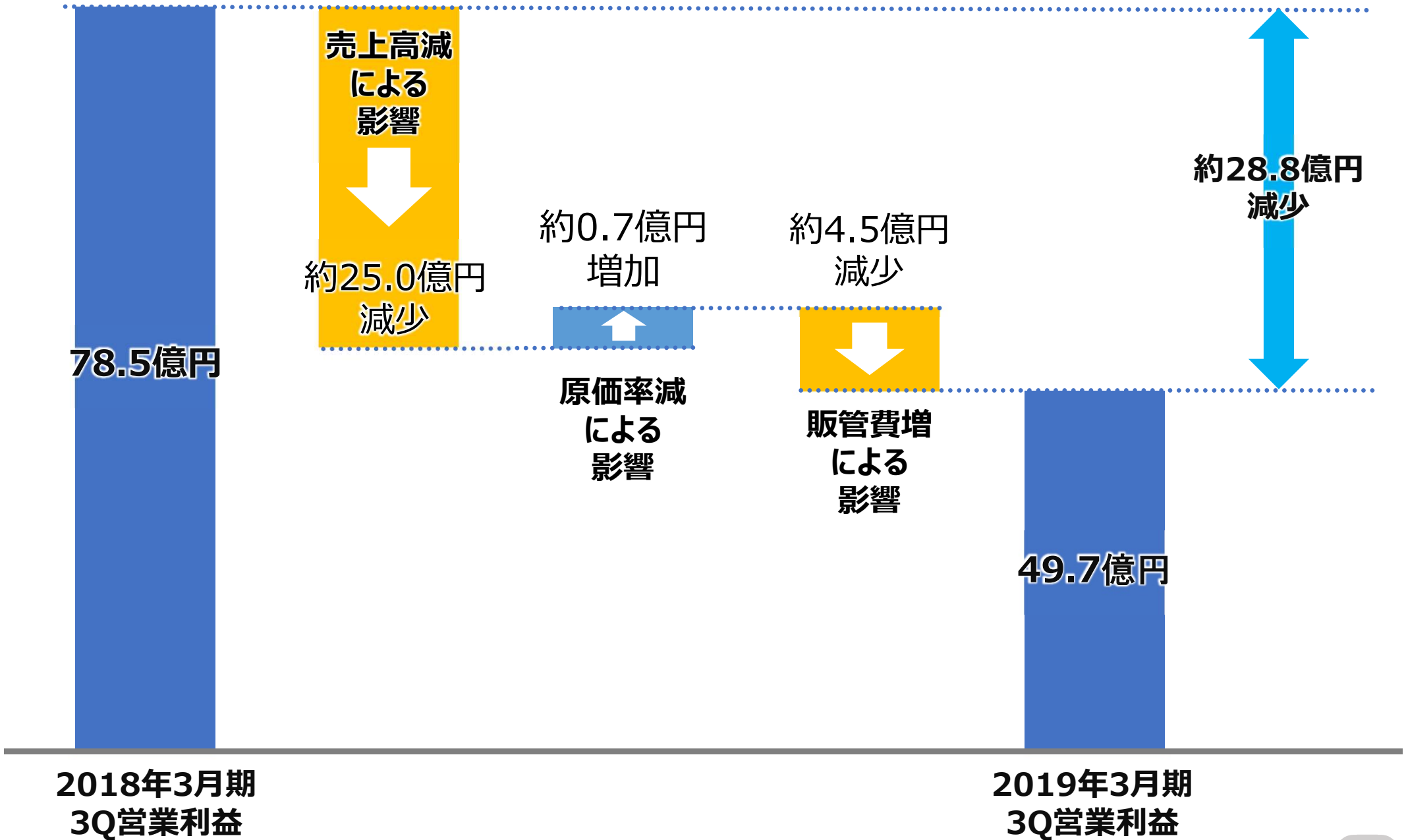


I 決算状況 事業部門別売上高構成比推移



※2013年3月期より、FPD関連事業は半導体関連事業に統合

I 決算状況 営業利益の増減要因分析



貸借対照表

※『税効果会計に係る会計基準』の一部改正を適用しております。

(単位：百万円)

資産	2018年 3月期	2019年 3月期3Q	増減
流動資産	71,467	66,777	△4,689
固定資産	23,863	25,018	+1,154
有形固定資産	17,376	19,263	+1,886
無形固定資産	814	650	△164
投資その他資産	5,672	5,104	△568
資産合計	95,330	91,795	△3,535

負債	2018年 3月期	2019年 3月期3Q	増減
流動負債	37,485	39,436	+1,950
固定負債	11,262	6,373	△4,889
負債合計	48,748	45,809	△2,939
純資産			
純資産合計	46,582	45,986	△595
自己資本比率	48.3%	49.5%	+1.2Point

主な増減項目

資産

現金及び預金	△3,581
売上債権	△3,145
建物および構築物	+2,577

負債・純資産

自己株式	△2,438
未払費用	△966
前受金	△900

想定為替レート

想定為替レート	2018年4月1日～12月31日 実績レート	2019年1月1日～ 想定レート
為替レート（対US \$）	107.84円	100.00円

株価推移

（単位：円）

株価推移	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年3月期		
			10月	11月	12月
最高	9,560	14,720	8,930	7,670	6,390
最低	2,275	8,030	6,300	5,430	4,285
末日	9,010	9,780	6,970	6,040	4,905

PER/PBR/ROE

PER/PBR/ROE	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期3Q
PER（倍）	14.43	15.26	—※
PBR（倍）	3.12	2.26	1.12
ROE（%）	24.30	18.18	—※

※PER・ROEについては、四半期の利益では比較に適さないため記載しておりません。

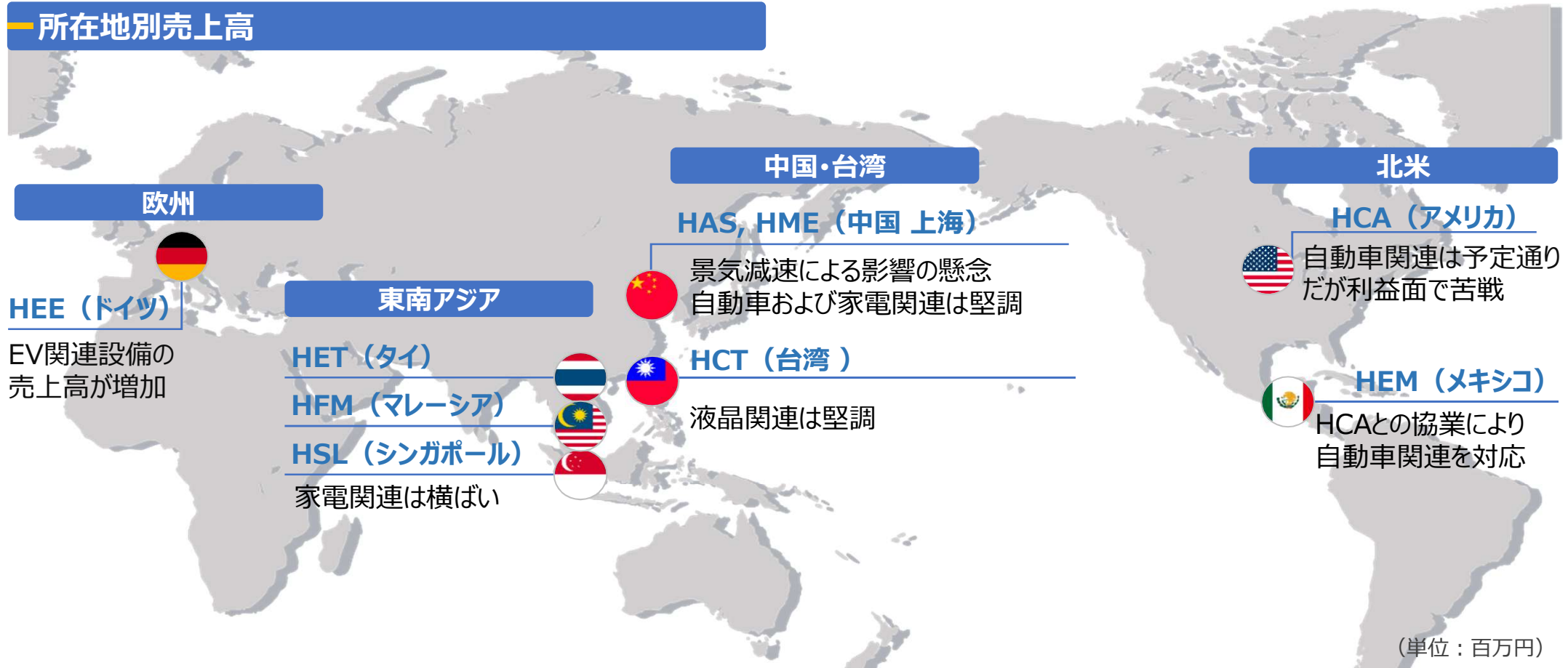
I 決算状況 事業部門別売上高・受注高・受注残高

(単位：百万円)

	事業部門	2018/3 第3四半期	2019/3 第3四半期	対前年同期比 増減率
売上高	自動車	23,479	21,579	△8.1%
	半導体	28,710	19,047	△33.7%
	家電関連およびその他	11,373	13,191	+16.0%
	その他	3,381	1,288	△61.9%
	合計	66,944	55,107	△17.7%
受注高	自動車	21,307	21,994	+3.2%
	半導体	31,848	13,383	△58.0%
	家電関連およびその他	14,462	8,649	△40.2%
	その他	1,829	1,641	△10.3%
	合計	69,448	45,668	△34.2%
受注残高	自動車	23,213	17,872	△23.0%
	半導体	16,051	10,231	△36.3%
	家電関連およびその他	7,966	6,238	△21.7%
	その他	825	699	△15.3%
	合計	48,056	35,042	△27.1%

I 決算状況 海外現地法人の状況

所在地別売上高



	日本		アジア		北米		欧州		合計	
	18/3 3Q	19/3 3Q	18/3 3Q	19/3 3Q	18/3 3Q	19/3 3Q	18/3 3Q	19/3 3Q	18/3 3Q	19/3 3Q
売上高	56,487	42,191	5,523	5,929	4,445	4,743	489	2,243	66,944	55,107
営業利益	7,184	4,113	354	1,099	562	△341	△18	31	8,082	4,902

※営業利益の合計はセグメント間の消去をおこなう前の金額を表示しています。

有機EL関連・電気自動車関連状況

(単位：百万円)

	2018年3月期3Q		2019年3月期3Q	
	受注高	売上高	受注高	売上高
有機EL関連	18,027	17,161	2,071	5,583
電気自動車 (EV) 関連	2,078	5,926	4,598	3,867

●有機EL関連

半導体関連の売上のうち、有機EL関連は約29%の割合となり、前年同期比約68%減、受注高は前年同期比、約89%減となりました。

●電気自動車 (EV) 関連

自動車関連の売上のうち、電気自動車 (EV) 関連は約18%の割合となり、前年同期比約35%減、受注高は前年同期比約121%増となりました。

「Cognitive Factory」がアプリケーション／サービス部門グランプリを受賞

弊社と株式会社インターネットイニシアティブ（以下IIJ）が共同開発したソリューション「Cognitive Factory（コグニティブ・ファクトリー）」が、「Impress DX Awards 2018」においてアプリケーション／サービス部門のグランプリを受賞しました。授賞の理由は、弊社が海外に広く事業を展開しており、「Cognitive Factory」によって「日本のものづくりと、海外の最新ビジョン／フレームワークの融合が期待できる」ことによります。

弊社は今後もIIJと連携し、「Cognitive Factory」による付加価値の高い生産設備の提供に注力いたします。



1月31日、授賞式にてトロフィーを拝受(左)

Ⅱ. 2019年3月期業績の見通し

2019年3月期 第3四半期

Hirata



II 2019年3月期業績の見通し 業績予想

2018年11月13日に通期業績予想の修正を発表いたしました。

(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2018/5/10、発表の 2019年3月期 通期予想	2018/11/13、修正発表の 2019年3月期 通期予想
売上高	94,163	95,000	83,000
自動車関連	34,955	40,000	35,000
半導体関連	37,338	30,000	27,000
家電関連およびその他	17,569	22,000	19,000
その他	4,299	3,000	2,000
営業利益 (率)	9,371 (10.0%)	6,500 (6.8%)	5,200 (6.3%)
経常利益 (率)	9,247 (9.8%)	6,400 (6.7%)	5,300 (6.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (率)	6,666 (7.1%)	4,400 (4.6%)	3,800 (4.6%)

事業計画達成のための施策

- 自動車関連では、内燃系に加え、電気自動車（EV）関連の生産設備の受注拡大に努める。
- 半導体関連では、有機ELディスプレイ蒸着装置の受注が減少するが、IoT関連や自動運転技術などによるシリコンウェーハ搬送設備案件の受注拡大が見込まれる。
- 成長市場への積極的展開に加え、効率的な生産体制の構築、収益基盤の強化に努める。

1株あたり配当金・配当性向 推移

(単位：円)

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期予想
1株あたり配当金	15.00	30.00	100.00	125.00 うち記念配当25.00円	125.00
配当性向 (%)	16.4	17.5	16.0	19.5	35.0

※配当性向は連結ベースです。

配当予想について

弊社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しながら安定した配当を継続していくことを基本としつつ、一方で経営業績に応じた弾力的な配当を実施することも肝要であると考えており、業績、経営環境および財務状況等を総合的に勘案した上で決定しております。

なお、2019年3月期の1株当たりの期末配当は、昨年に引き続き125円を予定しております。

自動車関連事業

世界の自動車販売台数は、米国で横ばい、中国が微減となるなか、新興国が成長をけん引。国内は微減が予測されるものの、消費税増税に向けた駆け込み需要を見込む。弊社は、電気自動車（EV）関連生産設備を主に日欧メーカーより受注増。引き続き、EV関連生産設備の受注拡大に努める。

半導体関連事業

半導体関連市場においては、減速基調に転化。ディスプレイの有機ELへの投資も鈍化。自動車・産業分野向けの需要は増加基調。弊社は、有機EL関連の設備投資が調整局面を迎えたことで、減収。今後は、有機EL市場の回復時期をにらみつつ、ウェーハ搬送関連、液晶関連の受注確保に努める。

家電関連およびその他

弊社の主要顧客である高機能家電メーカーについては、投資が一旦落ち着き、次の機会の継続受注に努める。また、タイヤ関連の受注は堅調に推移。

Ⅲ. 参考資料

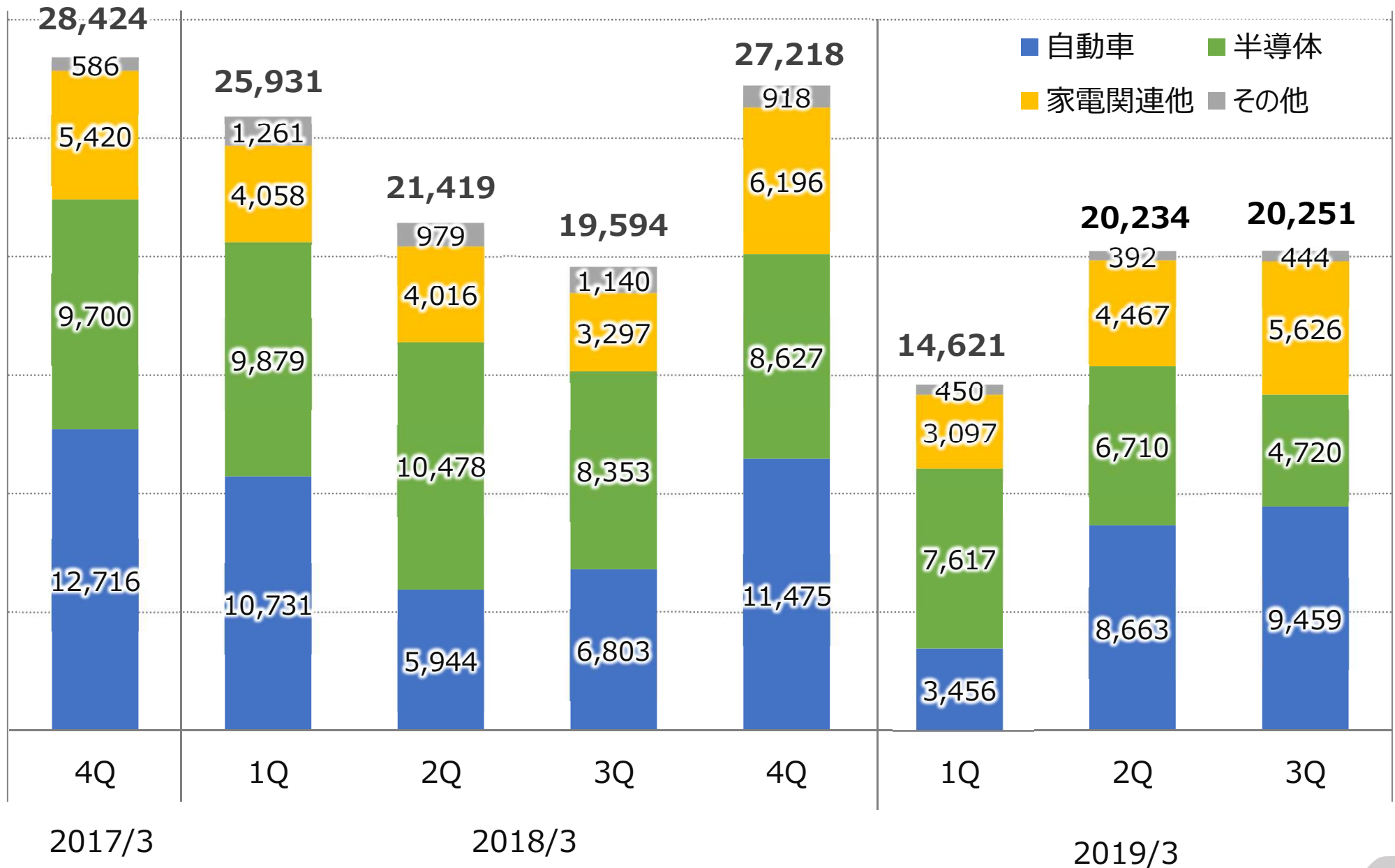
2019年3月期 第3四半期

Hirata



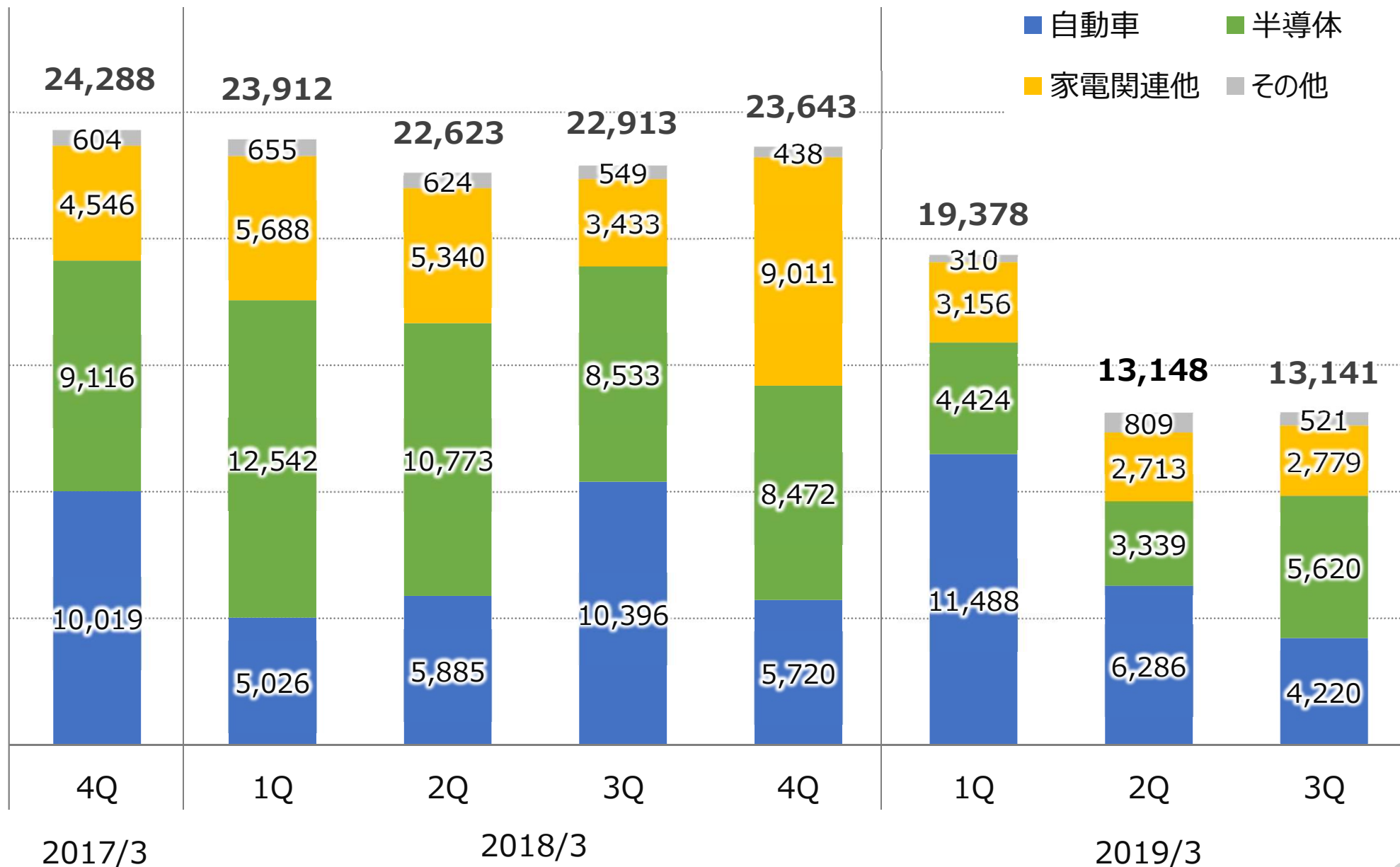
事業部門別四半期売上高の推移

(単位：百万円)



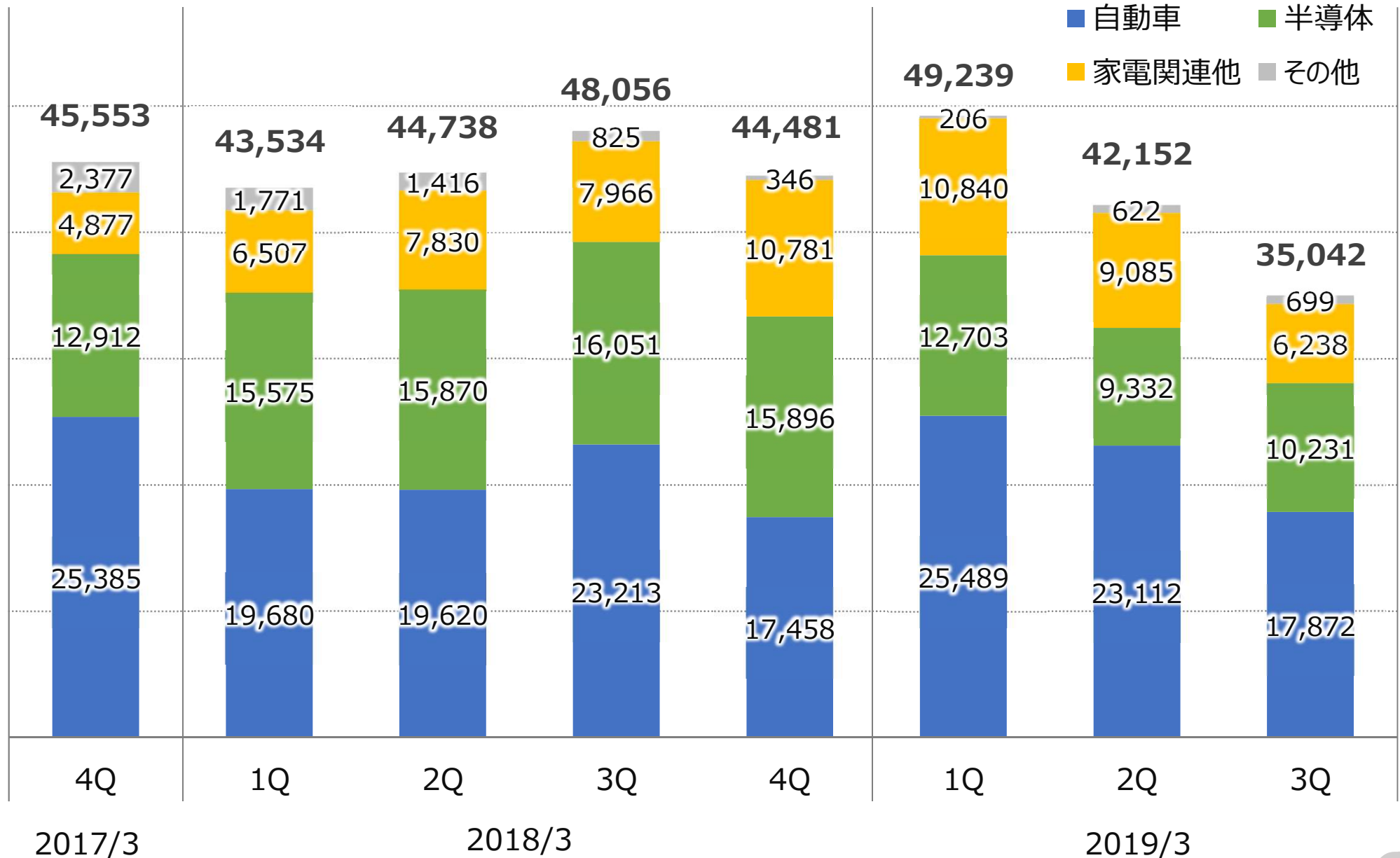
事業部門別四半期受注高の推移

(単位：百万円)

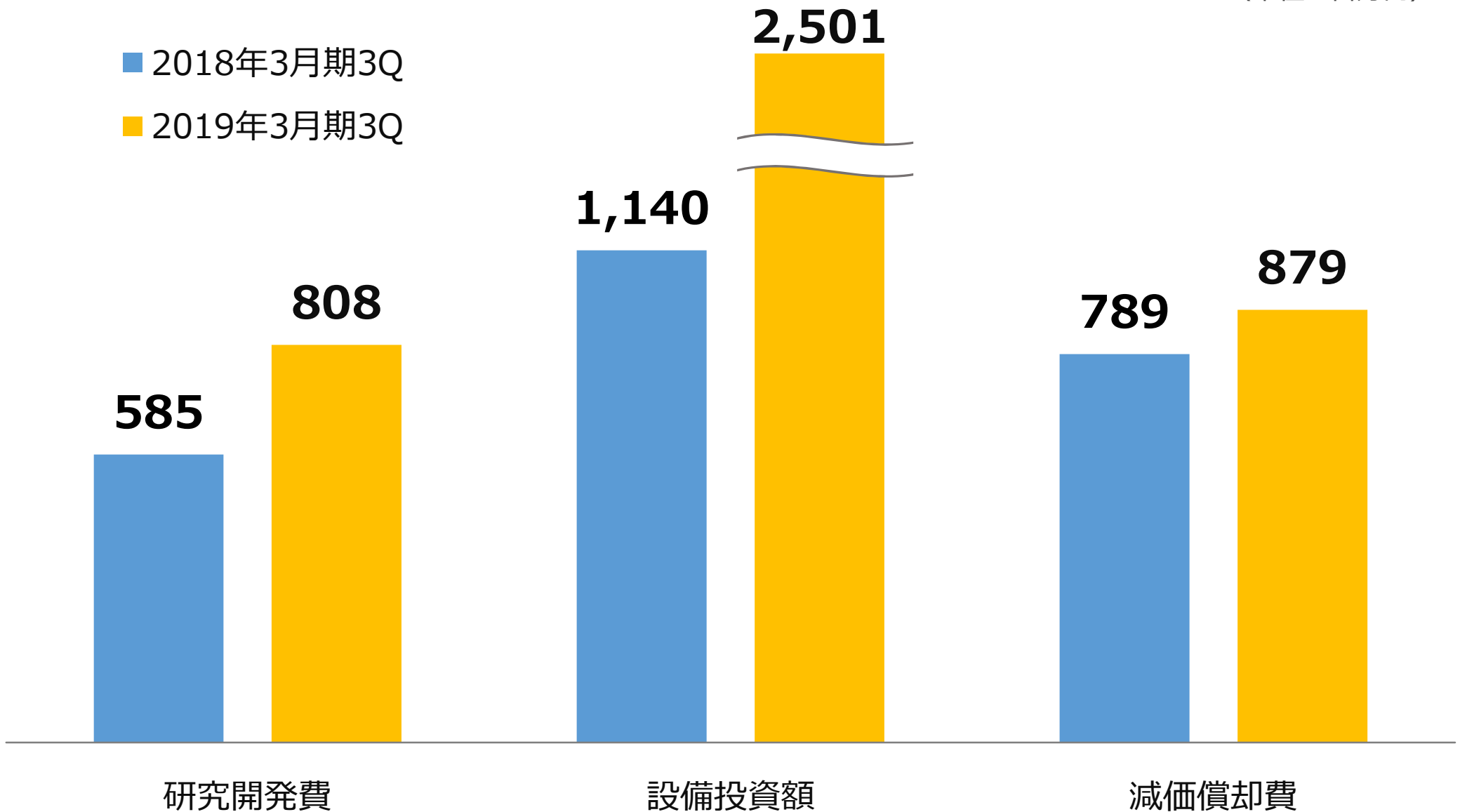


事業部門別四半期受注残の推移

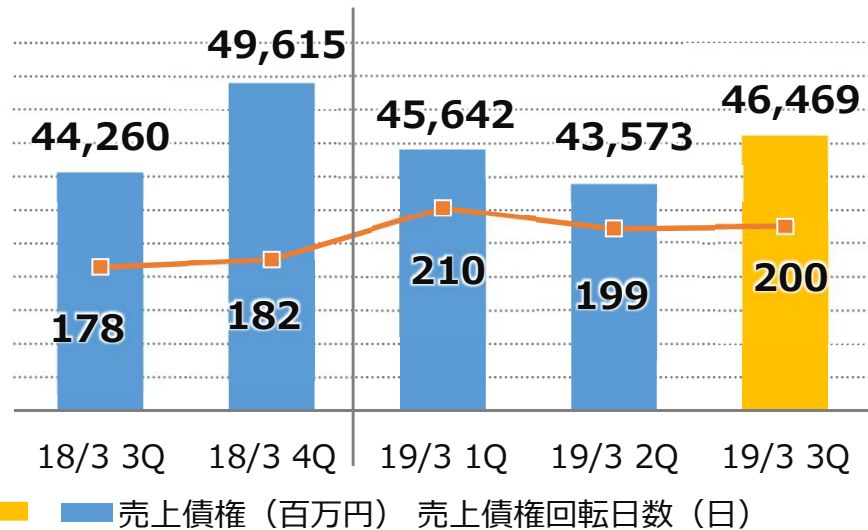
(単位：百万円)



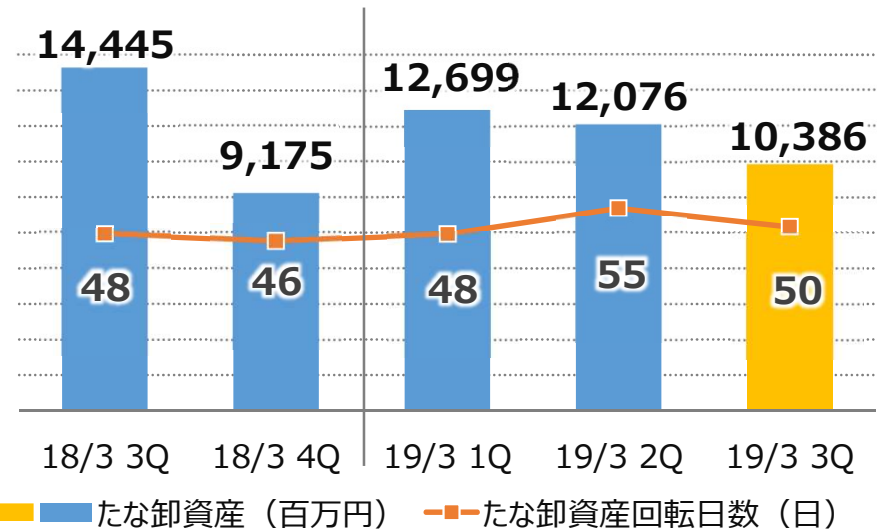
(単位：百万円)



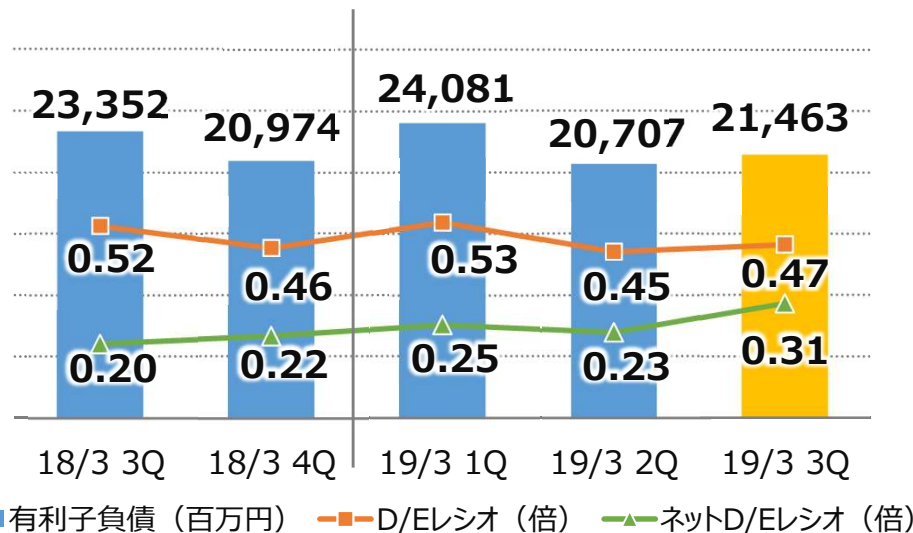
売上債権・売上債権回転日数



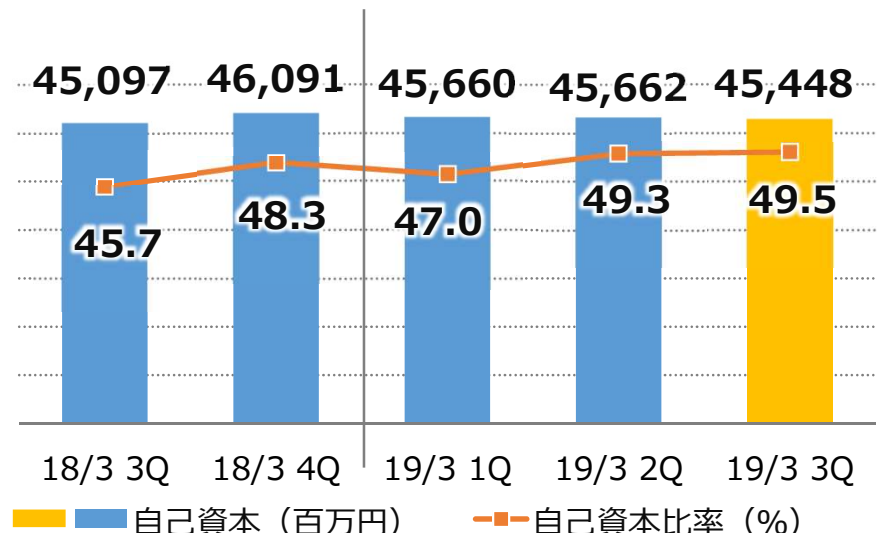
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



【注】売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

ご注意

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。